

農業経営の安定化を

安定的な農用水の確保

有害鳥獣対策にも引き続き支援を実施

農業の振興につきましては、経営所得安定対策等直接支払、多面的機能支払、新規就農・経営継承総合支援事業・中山間地域等直接支払事業等を引き続き推進し、農業経営の安定化を図ってまいります。

また、農業従事者の高齢化、後継者不足が進む中、水田農業活性化事業、農地利用集積円滑化事業等、遊休農地解消総合対策促進事業等を推進し、農地の有効利用並びに遊休化の防止に努めてまいります。

一方、当町農業の要となる農業用水につきまして、日高幹線



水路・鉢巻水路の水源の基となる若野頭首工の老朽化が著しいため、平成27年度から、県営により実施している改修工事を引き続き行い、また、内原

水産業・商工業・観光業の振興

新たにナマコの育成放流を支援

鍋GPでの3位入賞が絶好の機会

次に、水産業の振興につきましては、漁業資源の減少や、漁価の低迷、漁業従事者の高齢化等、漁業を取り巻く環境は非常に厳しく、深刻な問題となっております。このような中、水産資源の確保と漁価の安定等を図るため、クエ、ヒラメ、サザエ、伊勢エビ等の放流事業を引き続き支援し、また、平成28年度からは新たに磯根漁場再生事業を支援し、ナマコの育成放流し、資源の確保に努めてまいります。

商工業の振興につきましては、小規模事業者の経営安定を図る

揚水機場の2号ポンプの改修工事を実施するにあたり、その改修費用の一部を負担し、安定的な農用水の確保に努めてまいります。

有害鳥獣対策につきましては、は、イノシシ、タヌキは減少傾向にありますが、まだまだ被害が発生している状況であり、対応に迫られている農家の方々のご

ため、小企業経営改善資金の利子補給制度の活用を商工会を通じ、引き続き促進してまいります。

本年1月に埼玉県和光市で開催された「ニッポン全国鍋グランプリ」では、民宿組合の方々を中心に当町のクエ鍋で初出し、3位入賞となり「Jーブランド鍋」に認定されました。

さらに、2020年の東京オリンピック開催時に計画されているグラントチャンピオン大会への出場権も獲得することができ、これを機会に、関係団体のみならずと連携し、クエとともに熊野古

苦労は、並大抵のことではなく、喫緊の課題であるため、各支援を平成28年度においても引き続き実施してまいります。

また、TPPにつきましては、関係施策等を十分注視するとともに、関係機関との連携を密にしながら、農業従事者の利益を考え取り組んでまいります。

道や西山・産湯海水浴場等、当町の魅力をより一層PRし、観光産業の振興を図ってまいります。



クエ鍋のブースに長蛇の列(鍋GP)

このほか、過去3回実施している、軽トラ市についても、引き続き開催し、地元でとれた新鮮な野菜・果物等を地域住民や観光客等に提供するとともに、地元産品のPRに努めてまいります。

一方、消費生活に係る環境は、めまぐるしく変化し、高齢者をターゲットにした、悪徳商法や振り込め詐欺、インターネットを利用したトラブル等、ますます手口は巧妙化しており、こうした新たな変化にも対応できるよう独り暮らしの高齢者はもとより、若年層まで、消費者トラブルの被害を未然に防止するために、平成28年度においても啓発グッズの作成配布等実施し消費者行政に取り組んでまいります。

温泉館「海の里」につきましては、閉鎖されていた食堂部が、昨年7月から町内で生産された農産物・海産物を提供し、当町一次産業のPRも兼ねた食堂として再開されました。産業振興・

観光振興の1つの拠点としての機能もたせながら、今後も、関係団体と連携を図りながら、よりよいサービス向上と増客に努め、利用者みなさまにご満足いただける運営に努めるとともに、町民の健康増進と利用者相互の交流並びに、コミュニティ活動の促進を図り、地域の活性化に寄与してまいります。



温泉館食堂部の「みちしお亭」

業として、県道井関御坊線の原谷地区および県道柏御坊線の中志賀から上志賀間において、平成27年度に引き続き工事を実施してまいります。

また、県道御坊由良線の田杭・阿尾間、比井・産湯間、県道柏御坊線の柏・上志賀間につきましては、早期の工事実施に向け取り組んでまいります。

町道関係では、社会資本整備総合交付金事業による、町道比井小学校川添線の拡幅改良工事につきましては平成28年度をもって完成予定となっております。また、町道高家中央線の拡幅改良工

「生きる力」を育む教育活動

教育環境の整備・充実

子どもたちが明日の日高町を担う人材として成長していくことができるよう小・中学校の連携強化のもと、自然や産業、人材などの教育資源を生かしながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視した「生きる力」を育む教育活動の推進、安全対策の強化を進めてまいります。



平成28年度完成予定の町道比井小学校川添線

道路交通網の整備

県道における工事継続や計画

町道高家中央線の拡幅

住民の日常生活や地域経済、社会活動の維持発展に道路は欠くことのできない社会資本であり、町づくりの骨格形成並びに町土の均衡ある発展を図るうえ

からも、住民生活と密接に関連する生活道路をはじめ、基幹交通体系となる幹線道路網の整備を計画的に行ってまいります。県道につきましては、継続事

児童生徒が安全・安心で快適な学校生活がおくれるよう、老朽化が進んでいる学校施設の修繕、備品等の整備を行いながら教育環境の整備・充実に努めてまいります。

平成27年度の学校支援員は、小学校に7名、中学校には3名を加配し、普通学級での個に応じた学習支援や発達障害等をもつ児童